

ドイツの育種家・リーガーが生みの親です。

< 植物名 >

ベゴニア

エラチオール(エラティオール)リーガースベゴニア
一重

水やり

土の表面が乾いたら水やりを。

置き場所

日当たりの良い場所へ。

用土肥料

開花中はリン酸分が多めの肥料を与える。

植え替え

特記事項なし。

ふやし方

挿し木

冬越し

霜が降りる地域では明るい室内へ置く。

使い方 鉢植え、花壇、ハンギングバスケット

学名 Begonia

英名 begonia

属名 シュウカイドウ

科名 シュウカイドウ

性状(分類)

原産地 インド洋ソコトラ島

花の色 赤 橙 黄 ピンク、白

開花期 秋～春

購入時期

草丈

ID 170

季節 秋 冬 春

JFコード 20340



冬越しと置き場所

日光を好み、日照不足になると花もちが悪くなる。秋から春は室内の日当たりの良い場所に置き、霜の恐れがない季節には、戸外で十分日光を当てるようにする。ただし真夏は風通しの良い半日陰に置く。

その他の解説

開花中は、リン酸分が多めの肥料を与えると、花つきがよくなり長期間楽しめる。花が終わったら切り戻して、次に花をつける新芽を伸ばしてあげる。

特徴1

一重のほかに八重咲きもあり、花色も豊富。土の表面が乾いたら水やりを。ただし、冬場は乾かし気味に管理する。水のやりすぎは根を傷めるので要注意。

特徴2

ベゴニア属は約2000種あると言われ、膨大な数の園芸品種があり、茎や根の形態によって木立性、根茎性、球根性の3タイプに分けられる。本来のリーガースベゴニアは、1955年にドイツの育種家・リーガーが赤色一重咲き種を発表して以来開発された系統のものを指すが、大抵は、それらを含むエラチオールベゴニア全般を指してリーガースベゴニアと呼んでいる。現在は一重だけでなく八重咲き品種などもあり、花色も鮮やか。